

# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 1月分

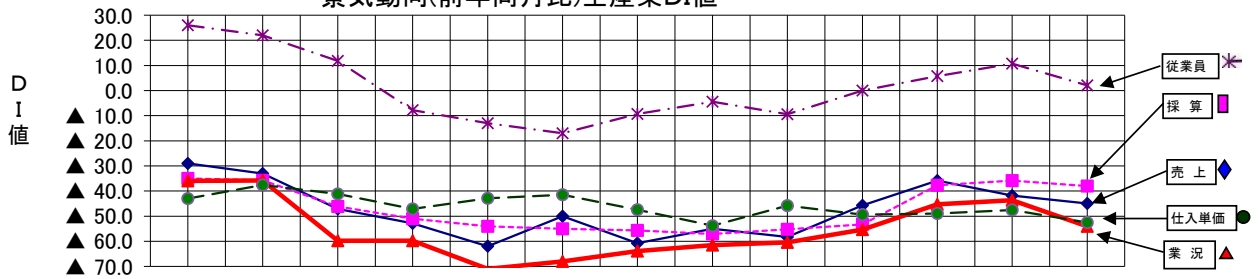
## 【1月の概要】

### コロナ禍長期化に、大雪の追い打ち加わる 感染再拡大により、先行きは更に不透明に

業況判断DI値は、全指標で前回より悪化し、連続して上昇傾向にあった採算・業況・仕入単価・従業員DIも反転。特に業況DIは8ヵ月ぶり、前月比マイナス10.3ポイントと大幅に悪化した。従業員DIは前月比8.7ポイント、先行き見通しも前月比11.6ポイント（人手不足感が）低下した。

寄せられたコメントでは、「大雪の影響が大きい」とする回答が多く見受けられたほか、年末年始の帰省自粛、首都圏等への緊急事態宣言再発出などが本県経済に影響を及ぼしており、感染再拡大によるコロナ禍の長期化による先行き不透明感が一層強まっている。

景気動向(前年同月比)全産業DI値



## 【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

	2020年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2021年1月
売上	▲ 29.0	▲ 33.0	▲ 47.1	▲ 52.9	▲ 62.0	▲ 50.0	▲ 60.8	▲ 55.0	▲ 58.3	▲ 45.7	▲ 35.9	▲ 41.8	▲ 45.0
採算	▲ 35.0	▲ 35.8	▲ 46.1	▲ 51.0	▲ 54.0	▲ 55.0	▲ 55.7	▲ 57.1	▲ 55.2	▲ 53.3	▲ 37.7	▲ 35.9	▲ 38.0
業況	▲ 36.0	▲ 35.8	▲ 59.8	▲ 59.8	▲ 71.0	▲ 68.0	▲ 63.9	▲ 61.5	▲ 60.4	▲ 55.4	▲ 45.3	▲ 43.7	▲ 54.0
仕入単価	▲ 43.0	▲ 37.6	▲ 41.2	▲ 47.1	▲ 42.9	▲ 41.5	▲ 47.4	▲ 53.8	▲ 45.8	▲ 49.4	▲ 49.0	▲ 47.5	▲ 52.5
従業員	26.0	22.0	11.8	▲ 7.8	▲ 13.0	▲ 17.0	▲ 9.3	▲ 4.4	▲ 9.4	0.0	5.7	10.7	2.0

- ・マイナス幅が増加したDI値：売上3.2ポイント、採算2.1ポイント、業況10.3ポイント、仕入単価5.0ポイント
- ・プラス幅が減少したDI値：従業員8.7ポイント

## 全産業平均DI - 向こう3か月間の先行き見通し

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
11月	▲ 22.6	▲ 17.9	▲ 34.0	▲ 7.6	4.7
12月	▲ 38.8	▲ 34.0	▲ 41.8	▲ 3.9	12.6
1月	▲ 32.0	▲ 37.0	▲ 45.0	▲ 18.0	1.0

- ・見通しが改善したDI値：売上6.8ポイント
- ・見通しが悪化したDI値：採算3.0ポイント、業況3.2ポイント、仕入単価14.1ポイント、従業員11.6ポイント

## 【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	建設資材	今般の大雪の影響により工事稼働率の低下が懸念される。
	ゼネコン	オリンピック投資が一巡。さらに、コロナ禍による投資停滞で受注伸び悩み。
製造業	和洋菓子	昨年と比較すると悪化が顕著。店売は増加の傾向だが、冠婚葬祭部門は不振。
	印刷	地域経済が良くなると影響が出てくる。安全なワクチンの早期接種を期待するばかり。
卸売業	青果	帰省自粛や大雪、緊急事態宣言の発出と影響はより厳しくなると予想される。
	土木・建築資材	公共資材卸売業は、山間地域の豪雪により工事「休工」で売上減少。
小売業	百貨店	新型コロナに加え年末年始の年間の最大商戦時期に大雪によるダメージが大きい。
サービス業	ソフトウェア	テレワーク対策機器整備が予定されており、設備投資が増加する見込み。
	レストラン	テイクアウトでもキャンセルあり。1月は、コロナの影響よりも大雪の影響の方が大きい。
	タクシー	来県者を拒む傾向があり、さらに人の流れが制約される。我々の商いも回復へは程遠い。